

令和元～2年度調査研究チーム設置要項

(令和元年10月8日決定)
北海道図書館振興協議会

1 目的

近年、図書館では少子高齢化・人口減少の影響による貸出数の減少、運営形態の多様化、専任職員の減少傾向等、多くの課題を抱えている。こうした厳しい環境の中で、地域の課題解決や住民の生活上の問題解決を支援するサービスへの取組が進められているが、道内市町村の状況や先進事例等の調査研究により、今後も地域における知の拠点として機能し続ける図書館運営のあり方や課題解決支援サービスについて、参考となる資料（報告書）を作成する。

2 調査研究を行う事項

調査研究チームは、次のことについて調査研究を行う。

- (1) 図書館運営に係る実態調査
- (2) 道内市町村立図書館等における地域の課題解決支援サービスの先進事例の紹介
その他、調査研究チーム内で活動計画を策定し、必要な研究を進める。

3 調査研究チームの委員

- (1) 委員は、北海道図書館振興協議会会長が指名する。
- (2) 委員は、おおむね市町村立図書館等職員5名、北海道立図書館職員2名とする。
- (3) 調査研究チームに座長を置く。座長は、委員からの互選とし、調査研究チームを招集・主宰する。

4 委員の任期

委嘱又は指定した日から令和3年3月31日までとする。

5 調査研究の成果

調査研究チームは、調査研究の成果を北海道図書館振興協議会会長に報告するとともに、市町村立図書館等に配付するほか、北海道立図書館ホームページに掲載する。

6 事務局

調査研究チームに係る事務は、北海道図書館振興協議会事務局が担当する。

おわりに

本報告書では「図書館の管理・運営」をテーマに、道内各図書館（室）の運営の状況や課題解決にかかる特徴的な取り組みの事例についてまとめました。

大きく取り上げた自治体の取り組みはもちろんですが、アンケートからまとめた様々な事例にもヒントとなるような魅力的な取り組みが数多く掲載されています。これからの図書館運営やサービスを考える上で大いに役立てていただければ幸いです。

今回の調査研究では新型コロナウイルスの影響で、打ち合わせや取材などに十分な時間をとることが出来ない状況の中ではありましたが、各メンバーの職場をはじめ様々な方々のバックアップにより、無事報告書をまとめることができました。また、お忙しい中アンケートや事例調査でご協力いただいた皆さまにも改めてお礼を申し上げます。

ありがとうございました。

令和3年3月

「図書館の管理・運営」調査研究チーム

北海道図書館振興協議会「図書館の管理・運営」調査研究チーム

座長	岳 直人（旭川市神楽図書館）
委員	黒氏 優子（恵庭市立図書館）
委員	白坂 孝（稚内市立図書館）
委員	對馬 千春（新冠町レ・コード館図書プラザ）
委員	野澤 香（栗山町図書館）
委員	一戸 泰（北海道立図書館）
委員	藤田さやか（北海道立図書館）
事務局	宮本 浩（北海道図書館振興協議会）
	小川 靖子（北海道図書館振興協議会）*令和元年度
	工藤 尚子（北海道図書館振興協議会）*令和2年度